

理事の声

保険証番号、今後の運用について

理 事 久代 和雄



H28年新年が明けマイナンバー制度の運用開始となりました。新潟日報1月8日夕刊には、番号の取り扱い次第では思わぬトラブルに発展しかねないので用心が必要だ。ブログなどに自分の番号を公開するのは法律違反となる可能性があり罰則を科される恐れもある。又、レンタル店などが顧客の番号のコピーを求めるのも違法行為になるなど。大きい見出しでトラブルに用心する様に記事が掲載されていた。色々な所から収入が有る人は今後あらゆる支払側へかならずマイナンバー提出が必要となり提出先が多ければ多いほど漏れる可能性も多くなる。国の側からすれば収入を100%正確に把握できるパーフェクトな制度で私達にはあまりめだった利点がない事をなんとかごまかそうとすればするほど？？？の数が多くなると感じるのは私だけでしょうか。1月5日総務省の仕事始め式で高市総務相は「仕事始め式にて今年の私からの皆様への宿題という事で新たな政策を発表させていただきます。各企業のポイントカードの得点やクレジットカードの得点などをマイナンバーカードで活用して新たなサービスを展開していく」と述べられました。あらゆる毎日の買い物にまでマイナンバーカードを持ち歩き全ての買物先でマイナンバーをばらまいて歩くのだろうか？今のままならたとえマイナンバーが漏れても税金計算だけに使用され、あまりお金にからむ事はない様に思われるが、この

先各種カードのポイントを統合したり銀行の通帳をマイナンバー登録したり保険証まで統合したり。近い将来お金にまつわる全ての情報がマイナンバーへ集約された日に大量に情報が漏れてしまったらいったいどんなに大変な事になるのやら。最近どこから漏れたか不明でその後その事については追加情報が不明だが10万件単位の医療情報の漏れがあったと記憶している。医療情報はこれまで特に守秘義務に対しシビアな医療系分野のみで使われ、あまりお金をひき出す事に直結しておらず、あまり大量に情報が漏れる事もなかったが、とうとう漏れてしまった。今後は医療情報をねらわずともマイナンバーが漏れてしまったら医療情報も全て漏れてしまう事になりかねない。せめて保険証番号や医療情報に関する物は別番号にしておく方が良いのではないか。一度漏れると情報はぜったいに消す事はできないし、場合によっては地球の裏側へさえ一瞬で飛んで行ってしまうのだから。日本はこれまであまりにも安全すぎて平和ぼけしている。もし全ての人が善人であったとしても、どこかでだれかがかならずミスをする。その上かならず悪事を働く人がいる事を当然考えた上で制度を作るべき時代ではないのか。便利になる事はだれしも大歓迎だが、こんなに安直なセキュリティーで問題なしと国レベルで考えている様ではこの先心配の種はつきない。さて皆様はどうお考えですか。